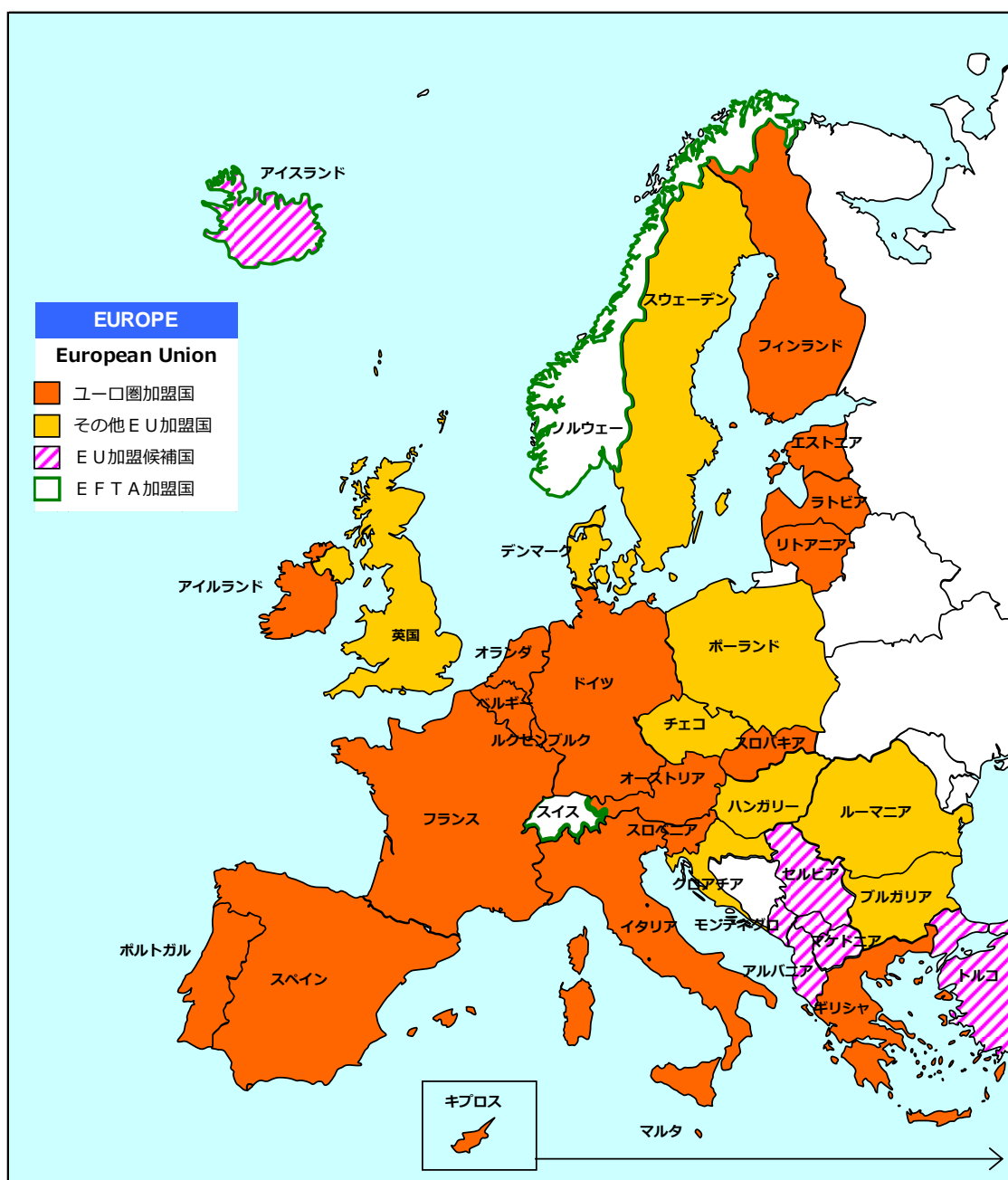


2015年12月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2015.12)

経済調査部
研究員 新居 真紀



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 15年Q3の成長率（2次推計値）は、前期比+0.3%と速報値から変わらず。15年に入って緩やかな鈍化が続いている
- 内需項目は、個人消費と政府消費が加速したものの、総固定資本形成はほぼ横ばいとなった
- 純輸出は実質GDP成長率に対してマイナスに寄与した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	-0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5	0.4	0.3
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4
政府消費	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3	0.6
総固定資本形成	-1.9	0.8	0.9	0.4	0.4	-0.5	0.4	0.6	1.5	0.1	0.0
設備投資	-1.4	0.9	1.2	1.5	0.3	0.4	0.8	1.0	1.7	1.0	0.2
住宅投資	-2.3	0.6	0.4	-0.9	0.7	-1.6	0.1	0.3	1.3	-0.2	-0.1
その他建設投資	-2.6	0.7	0.8	-0.4	0.3	-1.1	-0.3	0.2	1.4	-1.6	-0.3
輸出	0.3	1.2	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.3	1.6	0.2
輸入	0.1	1.1	1.3	0.5	1.2	1.1	1.5	1.2	1.9	0.9	0.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

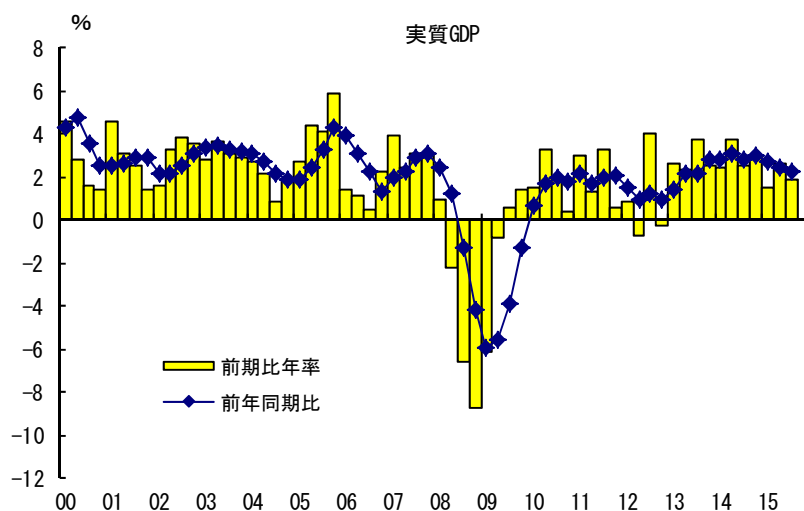
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	-0.24	0.39	0.25	0.20	0.23	0.06	0.29	0.37	0.54	0.39	0.29
個人消費	-0.14	0.09	0.15	0.08	0.02	0.10	0.23	0.29	0.25	0.17	0.23
政府消費	0.01	0.02	0.04	0.04	0.05	0.05	0.07	0.05	0.11	0.06	0.12
総固定資本形成	-0.39	0.15	0.18	0.08	0.08	-0.10	0.08	0.12	0.30	0.02	0.00
設備投資	-0.13	0.09	0.12	0.15	0.03	0.03	0.08	0.10	0.17	0.10	0.02
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.05	0.04	-0.08	0.01	0.01	0.07	-0.01	0.00
その他建設投資	-0.13	0.03	0.04	-0.02	0.02	-0.06	-0.01	0.01	0.07	-0.08	-0.01
在庫変動	0.19	0.00	0.22	-0.27	0.22	0.03	-0.20	-0.14	0.06	-0.23	0.22
輸出	0.13	0.53	0.21	0.49	0.34	0.45	0.72	0.54	0.60	0.73	0.10
輸入	-0.04	-0.41	-0.52	-0.21	-0.47	-0.45	-0.60	-0.48	-0.77	-0.36	-0.38
純輸出	0.08	0.12	-0.32	0.27	-0.13	0.00	0.12	0.05	-0.17	0.37	-0.29

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 15年Q3の成長率（2次推計値）は前期比+0.5%と速報値から変わらず
- 内需項目は、個人消費の伸びがやや減速したが、政府消費と総固定資本形成は加速した
- 輸入の伸びが急加速したことにより、純輸出は実質GDPに対して大幅なマイナス寄与となった



名目GDPに占める割合（%）

	2014
民間消費	64.7
政府消費	19.7
総固定資本形成	16.9
政府部門	2.7
企業部門	9.3
民間住宅投資	3.3
輸出	28.3
輸入	30.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	0.7	0.6	0.9	0.6	0.6	0.9	0.6	0.8	0.4	0.7	0.5
個人消費	0.5	0.1	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.8	0.9	0.7
政府消費	-0.7	0.8	0.6	0.2	0.0	1.4	0.5	-0.4	1.1	0.4	1.3
総固定資本形成	-0.5	1.9	3.0	2.1	2.2	1.4	1.4	-0.5	1.5	1.0	1.3
政府部門	0.3	-4.9	6.8	-1.0	9.9	-9.8	10.3	-2.8	0.8	2.7	4.5
企業部門	0.5	1.8	1.8	2.6	-2.2	5.4	-1.2	0.3	2.4	1.6	2.2
民間住宅投資	0.1	7.9	1.6	1.0	10.3	-1.0	-0.3	-0.9	-0.2	-1.5	0.6
輸出	1.9	3.3	-0.8	-2.9	1.6	2.4	-1.5	3.8	-1.2	1.9	0.9
輸入	-0.7	3.3	0.1	1.8	0.9	-1.8	0.8	2.8	0.6	-2.7	5.5

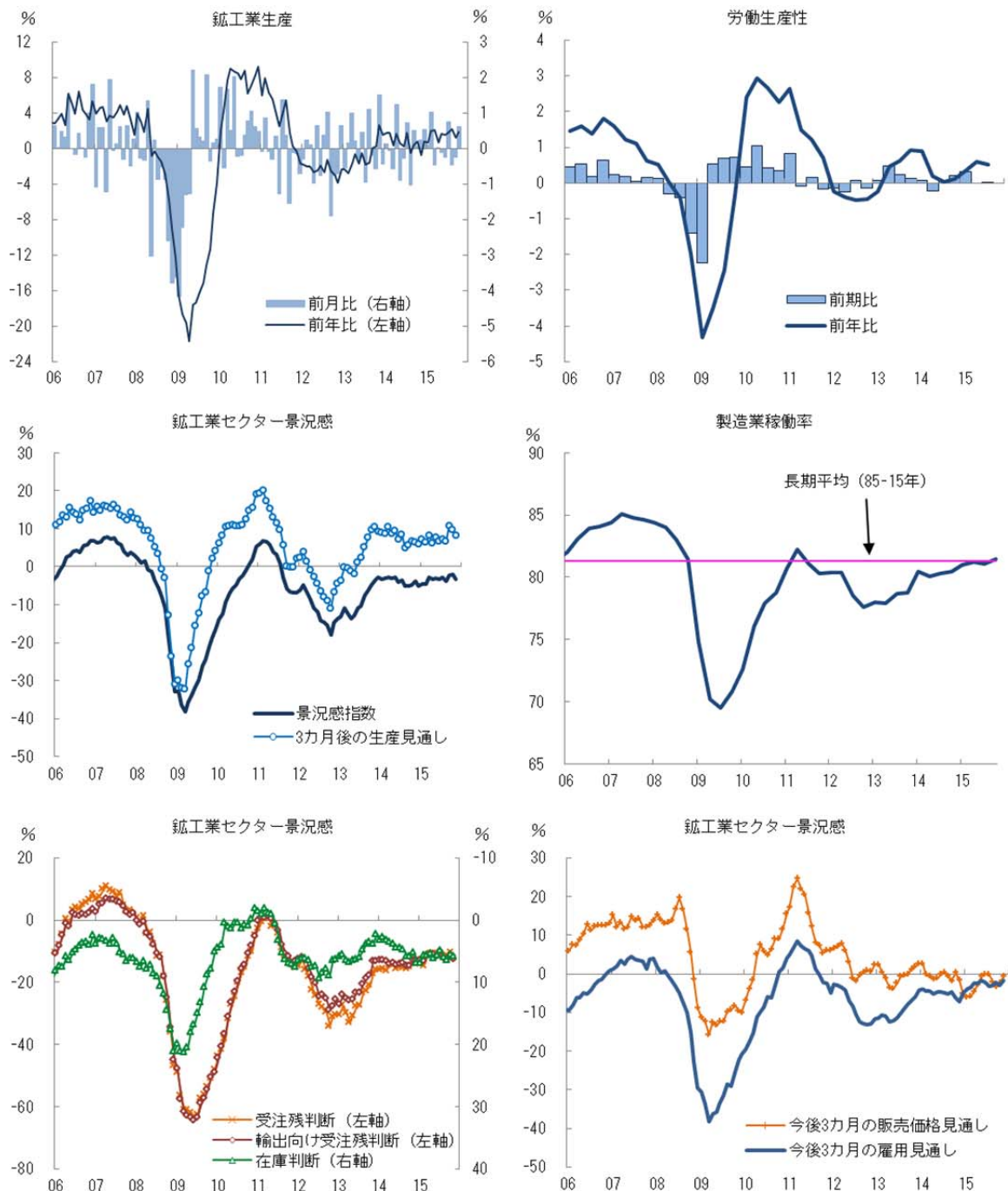
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	0.66	0.59	0.92	0.64	0.61	0.93	0.64	0.75	0.37	0.65	0.47
個人消費	0.30	0.05	0.55	0.46	0.41	0.46	0.44	0.38	0.50	0.60	0.48
政府消費	-0.14	0.17	0.12	0.05	0.00	0.28	0.09	-0.07	0.22	0.08	0.26
総固定資本形成	-0.08	0.30	0.49	0.35	0.36	0.23	0.23	-0.09	0.26	0.17	0.23
政府部門	0.01	-0.13	0.17	-0.03	0.26	-0.28	0.26	-0.08	0.02	0.07	0.12
企業部門	0.04	0.16	0.17	0.25	-0.21	0.50	-0.11	0.03	0.22	0.16	0.21
民間住宅投資	0.00	0.24	0.05	0.03	0.33	-0.04	-0.01	-0.03	-0.01	-0.05	0.02
在庫変動	-1.03	0.15	0.05	1.22	-0.29	-1.32	0.51	0.14	0.06	-1.45	0.98
輸出	0.56	0.97	-0.24	-0.86	0.47	0.71	-0.45	1.12	-0.36	0.56	0.27
輸入	0.22	-1.05	-0.04	-0.57	-0.28	0.58	-0.24	-0.88	-0.20	0.88	-1.73
純輸出	0.79	-0.08	-0.28	-1.43	0.19	1.28	-0.69	0.24	-0.56	1.44	-1.47

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比+0.6%と3カ月ぶりにプラスに転じ、前年比は+1.9%と前月から加速した
- 11月の鉱工業セクター景況感は前月から悪化。受注残判断、在庫判断、生産見通しの全ての構成項目が揃って悪化した
- 15年3Qの労働生産性の伸びは、前期比ではわずかに上昇、前年比ではわずかに低下したが、いずれも大きな変動はみられなかった

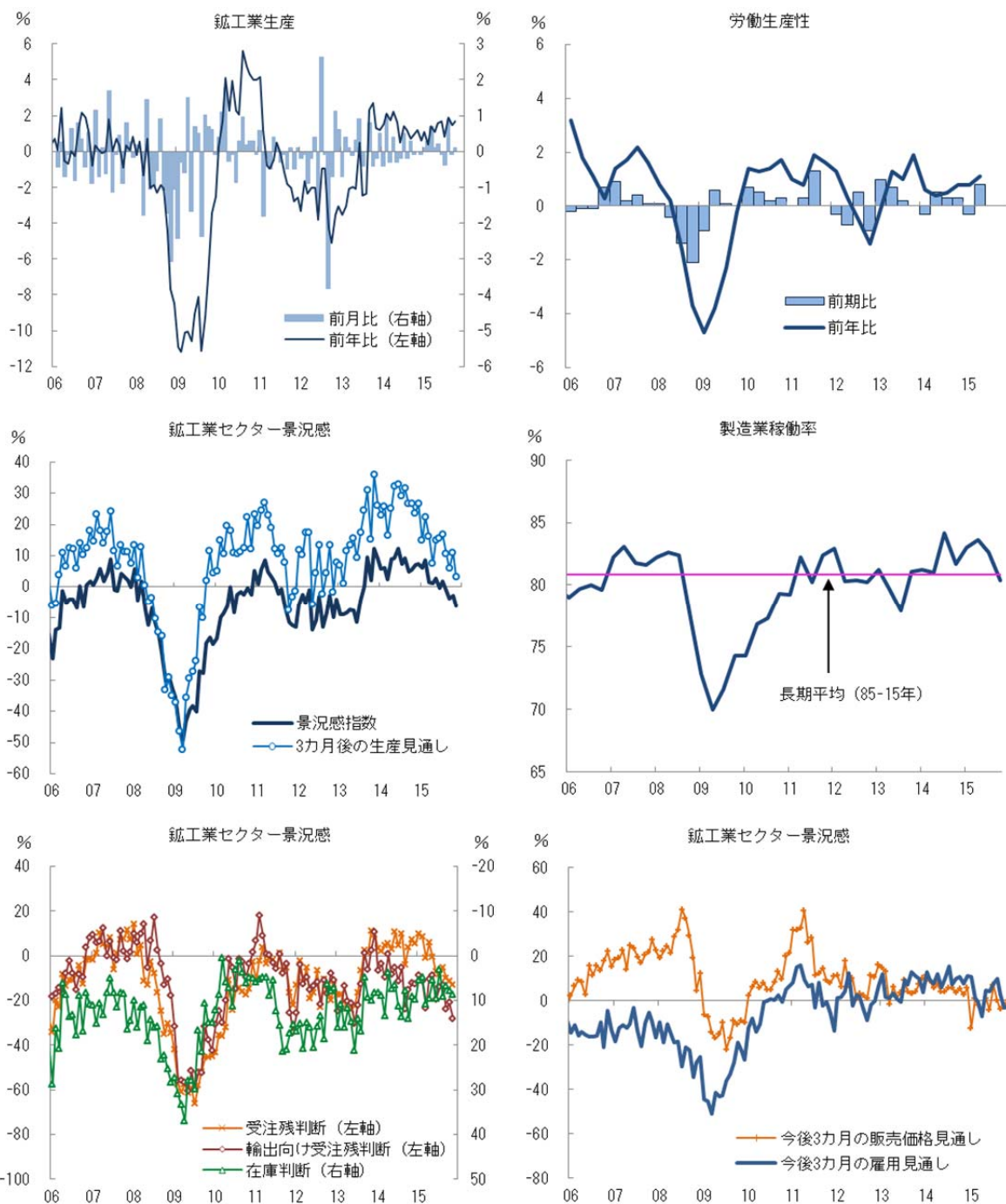


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比+0.1%とプラスに転じ、前年比も+1.7%に加速
- 11月の鉱工業セクター景況感は大きく悪化した。構成項目の中で受注残判断が一段と弱気な判断となり、生産見通しも大幅に悪化したことが影響した
- 輸出向け受注残判断も2013年6月以来の低水準となった

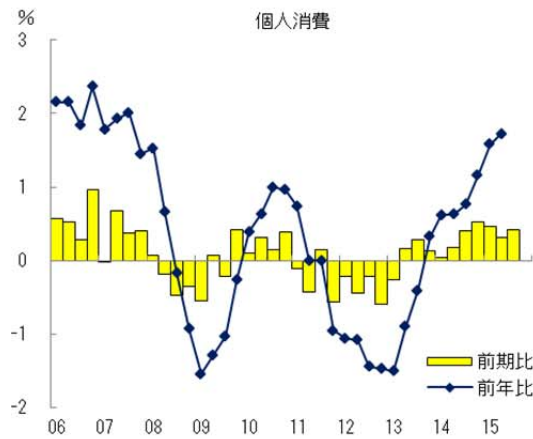


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 12月の消費者マインド(速報値)は小幅に改善した。パリでの連続テロの影響は限定的とみられる
- 10月の小売売上高は前年比+2.5%と堅調な伸びが続いている
- 11月の新車登録台数は前年比+15.1%と2009年12月以来の高い伸びとなった



注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 消費者マインドは4カ月連続で悪化していたが11月に改善に転じた。85-15年の長期平均と比べると高水準を維持している
- 11月の小売売上高は前年比+5.0%と前月から伸びが加速した
- 11月の新車登録台数の伸びは前年比+3.8%と前年割れした10月から持ち直した

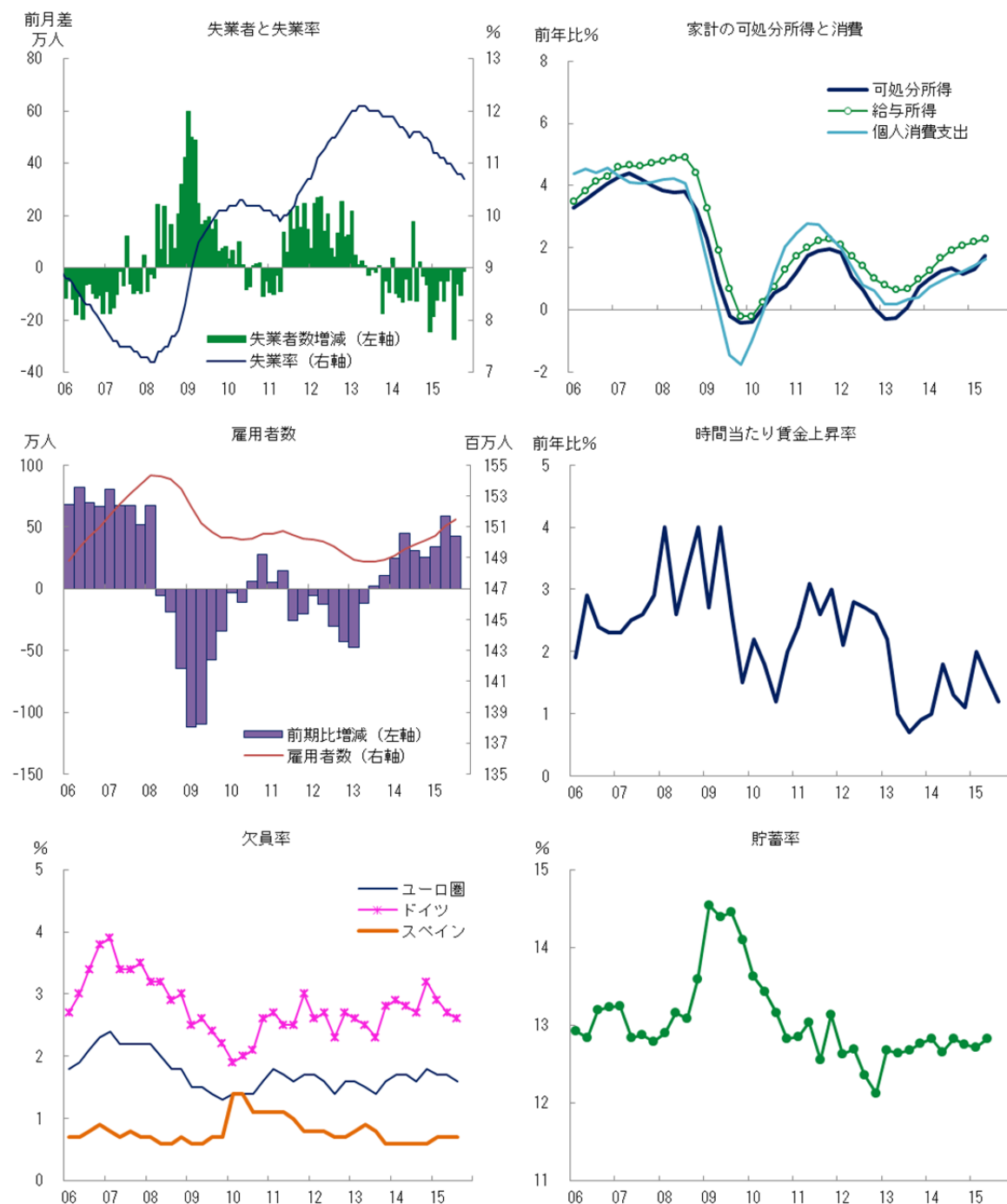


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 10月の失業者数は前月から1.3万人減少し、失業率は10.7%と前月から一段と低下した
- 15年3Qの欠員率はユーロ圏で小幅低下した
- 15年3Qの時間当たり賃金上昇率は、2四半期連続で鈍化している

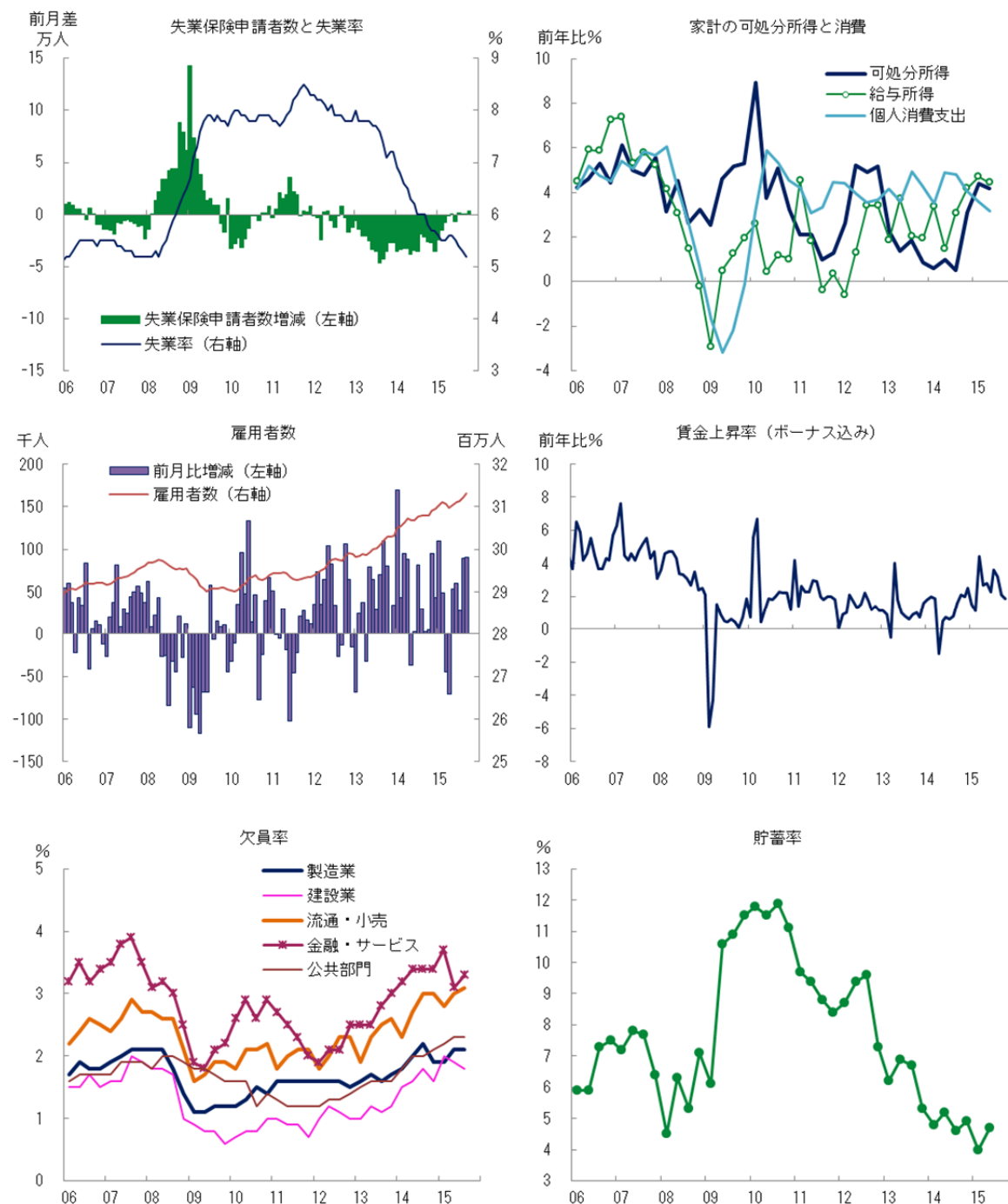


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 8-10月平均の失業率は5.2%と一段と低下した。一方、11月の失業保険申請者数は前月に比べて3,800人増え、小幅ながら4カ月連続で増加している
- 8-10月平均の雇用者数は7-9月平均から9.1万人増となり、5カ月連続で増加している
- 10月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+1.9%と小幅鈍化した



注：欠員率（Job Vacancy Rate）= Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

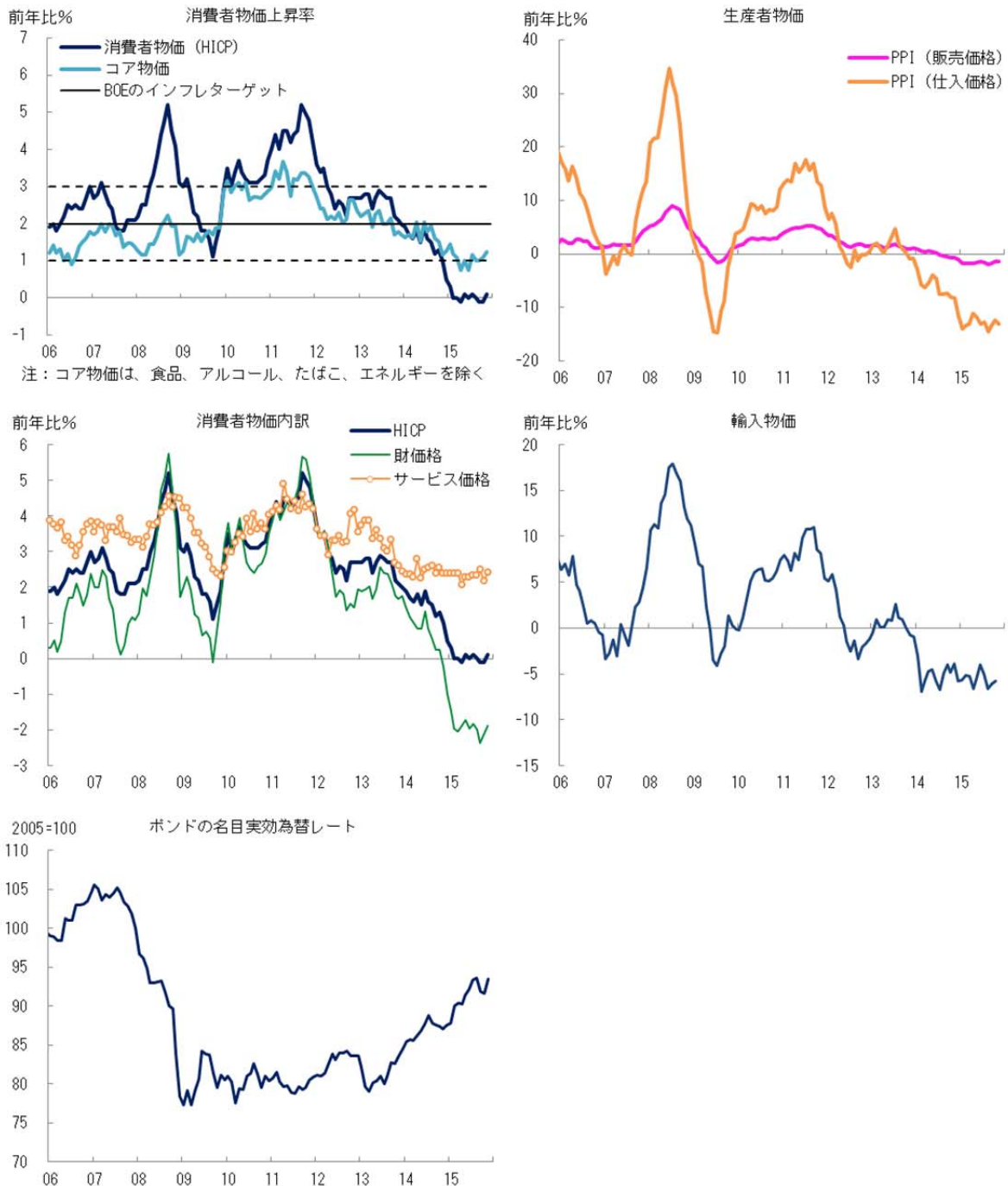
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.2%と前月から0.1%pt上昇したが、依然として低水準で推移
- エネルギー価格の下落幅は一段と縮小したが、コア物価上昇率は同+0.9%と小幅ながら減速した
- ユーロの名目実効為替レートは10月と11月の2カ月連続で下落したものの、原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり44.3ドルと09年2月以来の安値をつけており、原油価格下落が顕著になれば輸入物価上昇率の反転は一段と先送りされる可能性がある



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

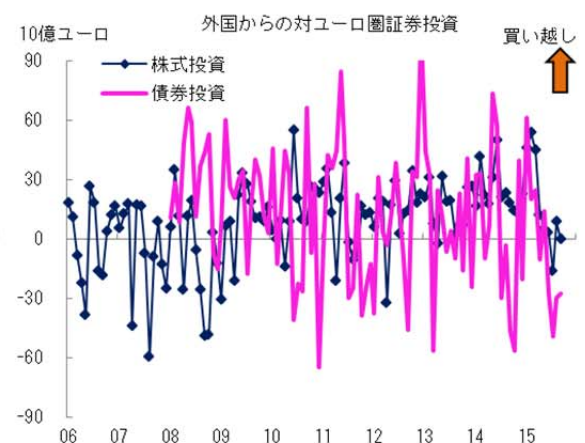
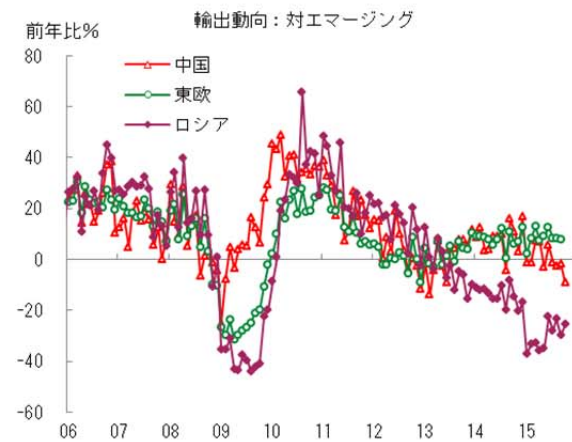
- 11月の消費者物価（HICP）上昇率は財価格が持ち直し、サービス価格が小幅上昇したため、前年比+0.1%と2カ月ぶりにプラスに転じた。コア物価上昇率は同+1.2%と小幅加速
- また、エネルギー価格と輸入物価の下落幅がともに縮小したことも、消費者物価の押し上げに影響したとみられる
- 一方、11月のポンドの名目実効為替レートは3カ月ぶりに上昇した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

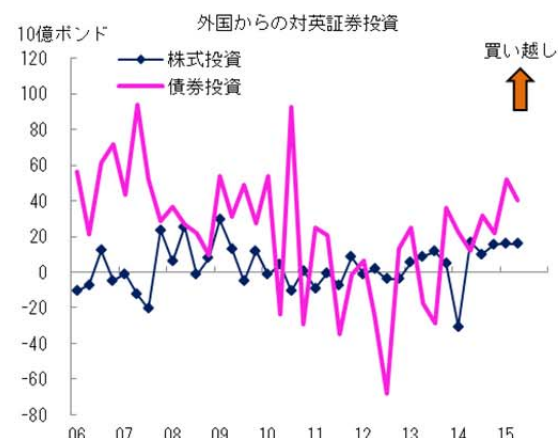
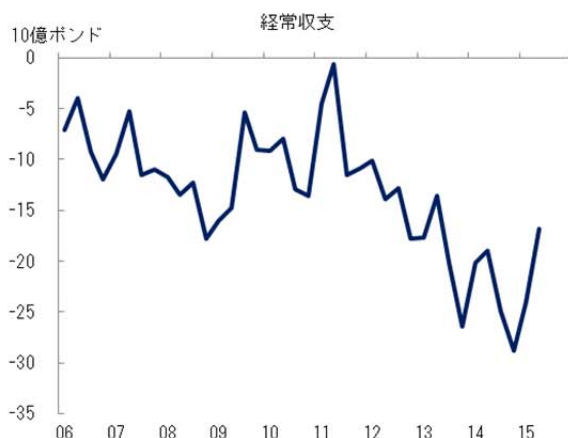
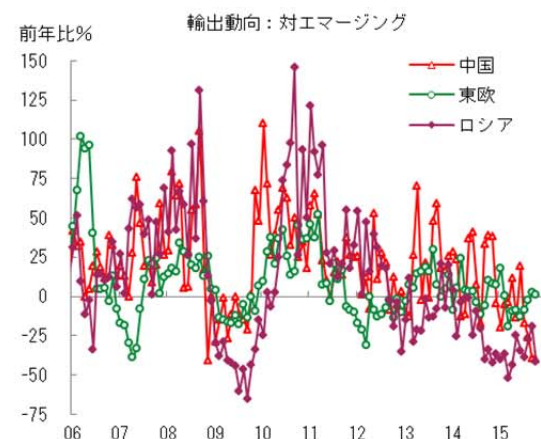
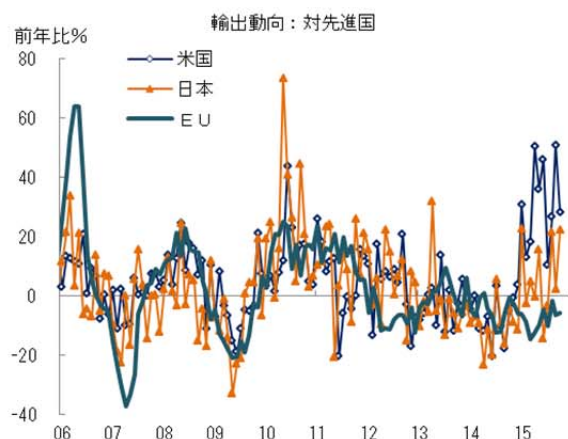
- 10月の輸出は前年比+0.6%と小幅減速し、輸入は同-0.4%と2カ月連続で前年割れとなった
- 国別に輸出の前年比の伸びをみると米国、日本向けが前月から大きく伸びた一方、中国向けが大きく落ち込んだ
- 10月の経常黒字は前月から縮小。一方、外国人投資家によるユーロ圏への証券投資は、株式投資、債券投資ともに大幅な買い越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 10月の輸出は前年比-8.2%と一段と鈍化した。最大の輸出先であるEU向けが回復せず、中国、ロシア向け輸出も大幅な落ち込みがみられるため
- 10月の輸入は前年比+2.0%と増加に転じた
- 11月の輸出向け受注残判断は13年6月以来の低水準となり悪化基調にあるため、今後の輸出はしばらく伸び悩みが続くと予想される



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成